

令和8年4月22日

(公財)日本中学校体育連盟  
柔道競技部ブロック長の皆様  
都道府県柔道競技部専門委員長の皆様

(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部  
部長 神谷 兼正  
(公印省略)

## 令和8年度全国中学校柔道大会における適用規程について（通知）

平素より本連盟柔道競技部の活動に、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会における試合運営につきましては、「国際柔道連盟審判規程」を基本とし、「少年大会試合審判規程」及び「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」を適用いたします。

つきましては、各規程等の改正点及び運用上の留意事項を下記のとおり整理いたしましたので、関係各位にご周知のうえ、適切な運用にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、大会の運営にあたっては、「正しい柔道」の実践と、発育発達段階にある中学生の安全確保を最優先にご配慮くださいますようお願いいたします。

### 記

#### 1 国際柔道連盟審判規程に関する留意事項

- (1) 2026年1月26日に国際柔道連盟(IJF)より試合審判規程の改訂が発表されたが、中体連においては、改訂前の国際柔道連盟審判規程(2025年1月1日施行のもの)を適用する。

#### 2 少年大会試合審判規程に関する留意事項

- (1) 本大会においては2026年改正の少年大会審判規程を適用する。
- (2) 後ろ襟を握ることは、今まで通り認める。

#### 3 日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項

以下の行為については、安全確保の観点から反則負けとする。

- (1) ダイビング(通称)
- (2) ユージングザヘッド(通称)
- (3) ヘッドディフェンス(通称)

以上